

# 視覚障害者のための歩行訓練の実施状況 2

平成 28 年度について

○和角輝美子 山本利和 村江鉄平  
 (（社福）日本ライトハウス養成部) (大阪教育大学教育学部) (大阪府立大阪南視覚支援学校中学部)  
 KEY WORDS: 視覚障害 歩行訓練

(目的) 視覚障害者のための歩行訓練は、視覚障害者の歩行における制限や困難さの減少や改善を目指して、歩行訓練士によって実施される。歩行訓練士(以下、訓練士)は、日本では A、B の 2 ヶ所のプログラムで養成されている。

前回の調査では、平成 27 年度に歩行訓練を実施した訓練士数、歩行訓練対象者像が明らかにされた。しかしながら、歩行訓練対象者像として、視覚とその他の障害を併せ持つ重複障害者と視覚障害のみを有する単一障害者への訓練実態は不明であった。また、歩行訓練がどのような目的で実施されているのかも不明であった。

そこで本研究では、A のプログラムを修了した訓練士に対して、平成 28 年度の歩行訓練の実施状況を調査し、対象者の属性(重複障害・単一障害)、および所属ごとの歩行訓練の主な目的と主な内容を明らかにしたい。

(方法) 【調査対象者】A のプログラムを修了した訓練士 386 名を対象とし、150 名の回答が得られた(回収率 38.86%)。【調査期間】平成 29 年 3 月 21 日に郵送、e-mail、直接配布され、同年 4 月 12 日までに回収された。【調査項目】歩行訓練実施の有無、対象者数、対象者の属性、所属ごとの歩行訓練の主な目的と主な内容についてであった。所属は、前回と同様、幼稚園幼児、小学部児童、中学部生徒、高等部生徒、理療科学生、就業者、上記以外の利用者(施設利用者を含む)に分類した。目的は、通学、通勤、通院、買い物、待ち合わせ場所(駅など)、レクリエーション(カラオケ、食事、スポーツなど)、その他とした。内容は、前回と同様の手引き、屋内歩行、白杖操作、基礎的歩行技術、信号、交通機関、ファミ(ファミリーゼーション)、歩行に関連する基礎知識、その他に援助依頼を加えた。

(結果) 歩行訓練の実態を調査したところ、平成 28 年度に歩行訓練を実施した訓練士は 92 名であった。訓練対象者総数は 862 名、重複障害者 145 名(16.82%)、単一障害者 717 名(83.18%)であった。つまり、ほとんどの歩行

訓練が単一障害者に対して実施されていることがわかった。

歩行訓練の目的として多い内容は、通学、通勤、買い物であった。通学は就学者に多く、通勤は就業者に多かった(表 1)。買い物は、重複障害者では中学部から高等部にかけて多く、高等部で最も多かった。一方、単一障害者では小学部から高等部にかけて多いが、最も小学部で多かった。その他の利用者では属性による違いは見られず、双方ともに買い物最も多かったが、目的が多義に渡っていた。

歩行訓練における標準カリキュラムでは、手引き、屋内歩行、白杖操作、基礎的歩行技術、信号、交通機関の順に訓練が進められるが、表から小学部より開始され、年齢が上がるとともに標準カリキュラムの内容が進んでいることが見て取れる(表 2)。また、手引きや屋内歩行、交通機関では属性によって実施割合の高い所属に違いはなかった。しかし、白杖歩行や基礎的歩行技術では属性による違いがあり、最も実施割合の高い所属は、重複障害者では中学部、単一障害者では小学部であり、信号では重複障害者では理療科、単一障害者では高等部であった。また、ファミはどちらの属性においても小学部から行われており、移動だけではなく、定位の指導も行われていることがわかる。同様のことが援助依頼についてもいえる。

(考察) 歩行訓練の目的として、対象者の生活に欠かせない場所への歩行が最優先され、次いで対象者のニーズや興味がある事柄が目的になるとと思われる。歩行訓練の内容については、前回と同様、利用者の成長に応じた系統だった訓練がなされている。重複障害者の方が単一障害者よりも標準カリキュラムのシフトがより緩やかになっており、白杖操作など、よりじっくりと指導していることが伺える。

これら目的及び内容全体により、訓練士が利用者のニーズや成長、また障害の程度に合わせて目的や内容を選んでいることが推察できる。

(WAZUMI Kimiko, YAMAMOTO Toshikazu, MURAE Teppei)

(%:所属ごとの属性内での割合)

	幼稚園		小学部		中学部		高等部		理療科		就業者		その他の利用者	
	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一
通学	0.00	0.00	<b>42.86</b>	<b>66.67</b>	<b>63.64</b>	<b>53.85</b>	<b>50.00</b>	<b>52.38</b>	<b>100.00</b>	<b>50.00</b>	0.00	3.03	4.35	9.60
通勤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.33	0.00	0.00	6.67	<b>37.50</b>	<b>30.30</b>	6.52	7.20
通院	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.67	12.50	10.10	<b>13.04</b>	<b>15.20</b>
買い物	0.00	0.00	0.00	20.00	9.09	15.38	16.67	14.29	0.00	10.00	18.75	18.18	<b>21.74</b>	<b>23.20</b>
待ち合わせ(駅など)	0.00	0.00	14.29	13.33	9.09	11.54	0.00	14.29	0.00	10.00	12.50	13.13	13.04	12.80
レクリエーション	0.00	0.00	14.29	0.00	0.00	7.69	8.33	4.76	0.00	13.33	6.25	16.16	<b>15.22</b>	<b>16.00</b>
その他	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	28.57	0.00	18.18	11.54	16.67	14.29	0.00	3.33	12.50	9.09	<b>26.09</b>	16.00

\*は、属性別、所属ごとの実施割合が高い目的  
 イタリック体は、属性別、目的ごとの実施割合が高い所属

	幼稚園		小学部		中学部		高等部		理療科		就業者		その他の利用者	
	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一	重複	単一
交通機関	0.00	0.00	3.45	4.92	6.82	13.27	<b>11.90</b>	<b>14.49</b>	11.11	13.10	7.69	10.68	6.67	9.31
信号	0.00	0.00	6.90	11.48	9.09	11.22	7.14	<b>15.94</b>	<b>11.11</b>	9.52	10.26	12.62	9.17	11.38
基礎的歩行技術	0.00	0.00	6.90	<b>14.75</b>	<b>15.91</b>	12.24	9.52	14.49	11.11	11.90	12.82	12.14	12.50	13.79
白杖操作	0.00	0.00	17.24	<b>19.67</b>	<b>18.18</b>	<b>15.31</b>	<b>16.67</b>	13.04	11.11	<b>16.67</b>	<b>17.95</b>	17.48	<b>16.67</b>	<b>14.14</b>
屋内歩行	0.00	0.00	<b>13.79</b>	<b>11.48</b>	11.36	4.08	9.52	4.35	11.11	7.14	7.69	5.83	11.67	10.00
手引き	0.00	0.00	<b>20.69</b>	<b>11.48</b>	13.64	8.16	14.29	5.80	0.00	8.33	7.69	5.34	10.83	10.00
歩行に関する基礎知識	<b>100.00</b>	<b>100.00</b>	6.90	13.11	6.82	12.24	9.52	10.14	11.11	10.71	12.82	10.19	10.00	8.97
援助依頼	0.00	0.00	10.34	3.28	6.82	<b>10.20</b>	<b>11.90</b>	10.14	11.11	7.14	5.13	4.85	8.33	6.90
ファミ	0.00	0.00	6.90	9.84	11.36	13.27	9.52	11.59	<b>22.22</b>	15.48	15.38	<b>18.93</b>	13.33	<b>14.14</b>
その他	0.00	0.00	6.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.56	1.94	0.83	1.38

\*は、属性別、所属ごとの実施割合が高い訓練内容  
 イタリック体は、属性別、訓練内容ごとの実施割合が高い所属